

ハッピー通信



2025年4月29日発行
25-18号

現場から（最近のニュースから）

スイッチの押し間違い



哲学者の鷺田清一さんが、ことばからめぐらせた思索をつづっている朝日新聞のコラム「折々のことば」からです。

＊＊＊

人間はねえ……スイッチを押すところを間違えると、間違って、ちゃあんと間違った人生になるんですよ。（島尾伸三）

◇

人が逸（そ）れても崩れだしても、「間違い」として否定できる能力とエネルギーがあるうちは修復も可能だ。が、まずはその原因となった状況から「逃げる方法」を知らないと、本当に壊れてしまうと写真家は言う。矛盾した自分も実は自分が演じ分けているという感覚がなくなり、死に抗（あらが）うことなく吸い込まれてゆくと。『魚は泳ぐ』から。

（4月22日朝日新聞＜折々のことば：3385＞より）

＊＊＊

物事の最初に犯してしまい最後になってやっと気づくような間違いのことを「ボタンの掛け違い」と言うこともあります、実際の人生では、最後になっても気づかずに、間違っているまま、間違った人生を送ることがあるのではないでしょうか。「矛盾した自分も実は自分が演じ分けているという感覚がなくなる」と指摘されているように、ほんとうの自分はどんな自分なのかも分からないま、流されていくことが多いのではないでしょうか。

新しい職場に入った人々が、その職場が合わないと思うのは、最初の1か月が多いと言われています。つまり、ゴールデンウィークの頃に合わないと思う人は多いようです。その職場が合わないから辞めて新しい職場に移るとしても、本当の自分が分かっていないなら、結局は最初のスイッチが間違っているのを修正することなく途中から新しくしようとしているだけです。環境を新しくしてもそれは表面的な部分だけですから、自分自身の根底はまったく変わらないので、結局は逸れた人生のまま、どこか合わないまま過ごすようになります。その人生から逃げようとしても、どうしようもないまま「間違った人生」になっていくのでしょうか。

あなたの人生を最初からまったく新しく正しくすることができるスイッチがあります。そのスイッチを押すなら、あなたが生きる目的も方法も、正しい方向になります。矛盾した自分を演じるのではなく、あなたがあなたとして生きるために、まず最初に押すスイッチは何かについていつよに見てみませんか。



救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあい、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になり、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快樂に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをして、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれています。隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。



それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出しができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。



神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に出会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス・キリストです。イエス・キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してください(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち碎いて勝利なさいました(I ヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス・キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。



もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス・キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス・キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の神様として受け入れます。私の罪を赦してください、私を救ってくださったことを感謝いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン」